

もいのにぎわい通信

2020年12月12日 定例活動報告

日時：2020年12月12日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：曇時々晴 気温10～14℃ 湿度65% 風向 北東 風速2.3m

参加者：12人：子ども1人、大人11人（内土地改良区0人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ・解散

■活動報告

本日の定例活動は土地改良区の皆さんは例年通り年末の為休みとなり、緑の環会員及びボランティアの皆さんの参加となりました。

今年3月より猛威を奮っているコロナウイルスの影響により活動時間を午前中のみとし休憩時間を出るだけ少なくしマスク着用及びソーシャルデスタンスをとり注意しながらの活動でしたが、何とか12月まで中断しないで活動が継続出来ました。

来年の定例活動ですが、冬に向かい感染者の急増により医療崩壊を防ぐ為、年末・年始の人の移動及び会食を控えるようにとの政府・自治体からの要請により当活動の継続も不安視されます。

例年冬は間伐材でたき火をして暖をとりましたが、火が完全に消えていることを確認しなければならず面倒でした。そこで今年は簡単に暖がとれ火の後始末が簡単な市販のたき火セットを購入しました。早速試しましたが、子供でも扱えるもので3～4人で暖をとるには最適でした。今年の冬はこのたき火セットが活躍しそうです。

作業ですが南側マツ斜面に面したチップ舗装した散策路にイノシシが来てチップの下にいるミミズ等の虫を食べたのかいたる所に穴があき掘り起こされていました。

最初に全員で掘り起こしたチップをスコップで平らに整地し足で踏み固め、そのあと軽トラックで踏み固めました。イノシシには困ったものです。

森の除草作業ですが、冬で草が枯れてきたこともあり、作業がしやすい季節となりました。

今回は夏にはジャングル状態となる西側スギ・コナラエリアの除草作業となりました。

しかし乾燥したススキやクズが邪魔して刈払機の作業もなかなか進みません。途中で刈払機をやめ剪定バサミで枝の付近のススキ・クズを除去しなければなりません。なんとか3月までには全エリアの除草作業除を終了出来ればと思います。昨年より成長した木々の枝打ち・間伐が必要となっています。

本日は脚立を使い千葉県寄贈エリアのシラカシを中心に枝打ちを行いました。作業は落下事故等のないようロープ及び足場に注意しながら単独作業とならないようにしました。

枝打ち・間伐は11月から3月までが最適期なので短い期間ですが、集中して作業を行いたいと思いま

す。

今回は東京から2名、松戸市から1名の参加者がありました。半日の活動にも関わらず遠くからの参加ご苦労様でした。

又千葉市から来られた中国人武世卓（ブ・セタク）さん 森の活動を楽しみましたか。

いつでも気軽に参加して下さい。

皆さんコロナに負けないで良いお年をお迎え下さい。

（記録： 星野 正人）

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、1月23日（土）（雨天の場合1月24日（日））除草作業、苗木の枝の剪定、間伐材の片づけを行う予定です。尚、コロナ禍の為、活動時間は午前9時～12時までとします。



集合写真



皆でイノシシに荒らされた散策路の整地



軽トラが威力を発揮



安全に配慮しながらの枝の剪定作業





安全に配慮しながらの枝の剪定作業



剪定した枝





紅葉が素晴らしい